

(公財)ぎふしん記念財団助成事業 第1展示室 令和3年4月20日(火)～7月25日(日)
開館30周年記念 加藤栄三・東一記念美術館名品展



加藤 東一「留白」



加藤 栄三
「月響(素描)」

第2展示室

岐阜市芸術文化奨励賞創設25周年記念展
近年の受賞者たち

令和3年
4月20日(火)～
6月13日(日)



波多野 公一「安穩無事」



桂川 成美「conversation」



須藤 美保「満椿讃歌」

良翠會

―岐阜長良川河畔に集う女流画家たち―

令和3年6月15日(火)～7月25日(日)

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内)
TEL/FAX058(264)6410

開館時間●午前9時～午後5時(午後4時30までに入館ください)

休館日●月曜日(5月3日(月)は開館)、5月6日(木)

観覧料●高校生以上310円(団体250円) 小中学生150円(団体90円)

※()内は20人以上の団体料金。

※各種障害者手帳をお持ちの人とその介護人1人、市内在住の70歳以上の人は、証明書などを提示すると無料。市内の中学生以下は無料。
※家庭の日(4月18日、5月16日、6月20日、7月18日)に入館する中学生以下と、その家族の人は無料。

岐阜市芸術文化奨励賞 創設25周年記念展

近年の受賞者たち 令和3年4月20日(火) ～ 6月13日(日)

平成8年より岐阜市の芸術・文化の振興に期待できる個人、団体に対し授与されてきた「岐阜市芸術文化奨励賞」の創設25周年を記念しての展覧会を開催いたします。

本賞は、創設以来、美術部門、舞台芸術部門、文芸部門の中から53名、2団体がその功績を認められ、受賞されてきました。今回は令和2年度の受賞者と過去5年に受賞された11名、1団体の活躍を作品や資料、写真パネルなどで紹介します。

出品作家

平成27年度

- 濱島秀行(舞台芸術・バイオリン)
- 山田真己(美術・洋画)

平成28年度

- 後藤嘉津幸(舞台芸術・能楽)
- 戸部善晴(美術・洋画)

平成29年度

- 柴田恭男(舞台芸術・作曲)
- 岐阜アートフォーラム(その他・総合文化)

平成30年度

- 酒井紫羊(美術・陶芸)
- 傍島幹司(美術・洋画)

令和元年度

- 河西栄二(美術・彫刻)
- 松久貴郎(舞台芸術・雅楽)

令和2年度

- 桂川成美(美術・版画)
- 波多野公一(美術・篆刻)



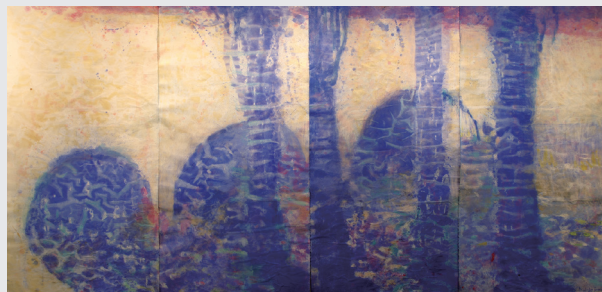
濱島 秀行「リサイタル Violin Songs」

山田 真己
「世界にひとつだけの花Ⅱ」

河西 栄二「2017・ヒト」



酒井 紫羊「美男葛紋大皿」



傍島 幹司「黄昏のセーヌ」

良翠會 一岐阜長良川河畔に集う女流画家たち一

令和3年6月15日(火) ～ 7月25日(日)

このたび、日本洋画壇の発展に寄与し、近代洋画史に残る作家を多く輩出してきた独立美術協会、国画会、新制作協会などで活躍する、岐阜県出身の女流洋画家5名を紹介します。

近年、岐阜県出身の女流作家の活躍はめざましく、関東で活躍する作家、岐阜を拠点とし、地域の文化振興に寄与しながら作品を発表する作家と、活躍の場や会派は様々ですが、お互いを敬愛し、刺激し合いながら日本洋画壇の発展のため精進しています。

本展では、5名の女流洋画家の足跡と活躍を個性あふれる意欲作で紹介します。

出品作家

青木 千賀子(二紀会)

伊藤 万几子(新制作協会)

須藤 美保(独立美術協会)

宮本 薫(国画会)

渡辺 由紀子(女流画家協会)



青木 千賀子「繋ぐ」



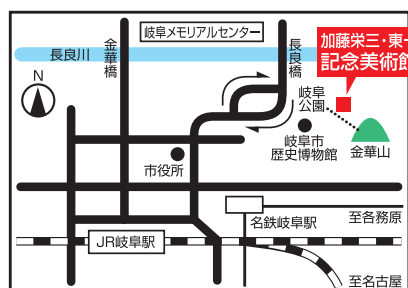
伊藤 万几子「時からの抱擁」



宮本 薫「青に浸る」



渡辺 由紀子「Kehai-環-」



交通案内

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅前から、岐阜バスにて長良橋方面行きバス停「岐阜公園・歴史博物館前」下車(所要時間約15分)・徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェー駅横)

駐車場

岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

貴方も友の会会員になってみませんか!

岐阜市歴史博物館
加藤栄三・東一記念美術館
友の会 会員募集

—文化の時代 心に潤いと豊かさを—

特典

- ・会報の配布、各種催しものの案内に受けられます。
- ・展覧会などの催しものが無料で何回でも観覧できます。
- ・会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。